

クリーンセンター建設に向けて

～クリーンセンターは、皆さんの日常生活に欠くことのできない施設です。～

今月号では、昨年度のごみ量の実績について、お知らせします。

■平成23年度のごみ収集量の実績

平成23年度のごみ収集量は次のとおりです。

総収集量を確認すると、クリーンセンターの建設ができなければ約70%のごみを処理することができなくなります。

また、燃やすごみ・ビニール・プラスチックごみなどが増加しており、市民や事業者の皆さんと共に、ごみの減量を進める必要があります。

ごみの減量について、皆さんのご協力をお願いします。

		平成21年度	平成22年度	平成23年度
人口(人)	年度末時点	69,789	70,788	71,524
総収集量(t/年)		20,227	19,947	20,475
生活系ごみ		14,974	14,777	15,150
燃やすごみ		11,276	11,111	11,494
ビニール・プラスチック容器包装		936	935	941
燃やさないごみ		1,293	1,326	1,340
ビニール・プラスチックごみ		380	391	414
粗大ごみ		671	669	627
ペットボトル		167	170	155
乾電池		14	15	15
生活ガラ		5	5	11
蛍光灯		2	2	1
古紙・古布類		230	153	152
事業系一般廃棄物		2,421	2,407	2,548
集団回収(古紙類など)		2,832	2,763	2,777
1人あたりの1日の生活系ごみ量(g/日)		588	572	580

(小数点以下を四捨五入)

■古紙類の集団回収にご協力を

平成23年度の打越台環境センターにおける燃やすごみの成分調査によると、紙・布類の比率が約65%であり、非常に高くなっています。たくさんのごみを焼却することは、施設に負担をかけるだけでなく、地球温暖化の原因ともなります。

古紙類の集団回収は、ごみの減量化やリサイクルにたいへん効果があることから、市では、地域の団体が取り組む古紙類の集団回収に補助金を出しています(平成23年度実績、1kgあたり5円)。古紙類のリサイクルに、皆さんのご協力をお願いします。

クリーンセンター建設に向け、皆さんのご理解とご協力をお願いします。